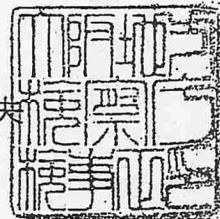


大阪地検指示第6号
平成14年12月25日

大阪地方検察庁管内司法警察職員 殿

大阪地方検察庁検事正 佐々木 茂夫



自動車等による業務上過失傷害等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式
例の特例の制定について

標記特例を下記のとおり制定し、平成15年1月1日から実施するので、遺憾の
ないよう運用されたい。

なお、この指示に伴い、平成12年6月14日付け当職指示第1号「自動車等による業務上（重）過失傷害等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」及び同14年3月11日付け同指示第1号「自動車等による業務上（重）過失傷害等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例について」は、
本年12月31日限りをもって廃止する。

以上、刑事訴訟法第193条第1項により指示する。

記

第1 特例は、特例書式（第一種）及び簡約特例書式（第二種）の二種類とする。

第2 特例書式の適用範囲について

道路交通法第2条所定の車両又は路面電車（以下「自動車等」という。）による業務上過失傷害事件及び重過失傷害事件のうち、後記の簡約特例書式を適用する事件を除き、

の事件及びこれに関連

する道路交通法違反事件、道路運送車両法違反事件、自動車損害賠償保障法違反事件に適用する。

ただし、次に掲げる事由のいずれかに該当する事件は除くこととする。

- 1 外国人（日本語を理解する者を除く。）が被疑者又は被害者である事件
- 2 告訴又は告発に係る事件
- 3 被疑者を逮捕した事件
- 4 証拠品を押収した事件
- 5 事実の重要な部分について、被疑者が否認し、又は被疑者の供述と相被疑者若しくは被害者その他の参考人の供述が食い違う事件

6

7

8

9

- 10 社会の注目を引くなど事案の性質上本書式になじまない事件

第3 簡約特例書式の適用範囲について

道路交通法第2条所定の自動車等による業務上過失傷害事件のうち、

及びこれに関連

する道路交通法違反事件に適用する。

ただし、次に掲げる事由のいずれかに該当する事件は除くこととする。

- 1 前記第2の各号に掲げる事件

2

- 3 次に掲げる違反のいずれかが事故原因となり、又はこれを伴う事件（当該違

反が事故と無関係であることが明白な場合を除く。)

(1)

(2)

(3)

4

5

6

ただし、

はこの限りでは

ない。

7

のうち、

次のいずれかに該当するもの

(1) 次に掲げる違反のいずれかが事故原因となり、又はこれを伴う事件（当該違反が事故と無関係であることが明白な場合を除く。）

ア
イ
ウ
エ
オ
カ

(2)

第4 特例書式の適用を受ける事件は、別添1の特例書式により、簡約特例書式の適用を受ける事件は、別添2の簡約特例書式により捜査書類を作成して送致すること。

第5 送致方法について

簡約特例書式の適用を受ける事件で、

とでは、本書式の適用除外事由が異なるので、これらの事件を区別して送致すること。

第6 本指示による特例書式及び簡約特例書式の運用要領は、別添3及び4のとおりであるので、同書式の実施に際しては、当該運用要領に沿った運用がなされるよう周知徹底を図られたい。

第7 実施日前に発生した事件については従前の例によることとされたい。

樣式第1号

檢 第 号

閱 **主任檢察官**

送致書

送致第
年 月 号 日

檢察官 殿

警察署

司法警察員

10

下記被疑事件を送致する。

搜查報告書

年 月 日

警衛署初 聞

警 察 罢

司法

印

下記被疑事件を捜査した結果は、次のとおりであるから報告する。

(注意) 口印のある欄については、該当の口印の中に入札者はること。

(用紙 日本工業規格 A4)

被疑事実の要旨									
日 時	年 月 日 午 時 分 ころ				事故時 の天候	□晴	□曇	□雨	
場 所					先路上	道路名 □交差点 □単路 □			
被 害 者 者	轟轟 区分	氏 名	年 齢	職 業	傷 病 名	程 度	事故時の状態		
			歳			□治療 約	□全治間	□歩行中等	□車同乗中
			歳			□治療 約	□全治間	□車運転中	□車同乗中
			歳			□治療 約	□全治間	□車運転中	□車同乗中
			歳			□治療 約	□全治間	□車運転中	□車同乗中
運 転 車 両	区分	車 種	登録(車両)番号		損 害 の 部 位 程 度				
	1				(□大破 □中破 □小破 □輕微) 約 円相当				
	2				(□大破 □中破 □小破 □輕微) 約 円相当				
運 転 状 況	時 速 約 km	□前後	□右左	□先行	□並進	□停止中	□交差道路進行		
				□追従	□対向	□道路へ進出			
歩行者等 の状況	□右折 □左折 □直進 □転回 □横断 □徐行 □急停止 □								
	□横断中 □歩行中 □飛出レ □併立 □路上作業 □路上遊戯 □								
被 疑 者 者	運転車両	車 種	□自家用 □事業用 ()			登録(車両)番号			
	運転状況	時 速 約 km	□直進 □右折 □左折 □横断 □進路変更 □追越し □追抜き □側方通過 □すれちがい □転回 □発進 □後退 □追従 □滑走 □扉の開閉 □						
過失 の 内容	過失 の 態様	□前方不注視 □被害者(車)の動静不注視 □徐行不履行 □一時停止不履行 □優先通行無視 □信号無視 □信号不確認 □安全不確認(□右□左□前□後) □右左折不適 □追従不適 □追越(抜)不適 □速度超過 □ハンドル・ブレーキ操作不適 □すれちがい不適 □合図不履行 □居眠り □							
	過失 の 内容								
	道 路 交 通 法 違 反								
情 状	被疑者の過失 □有 (□大 □中 □小) □無				示談	□成立 (円)			
	被害者の過失 □有 (□大 □中 □小) □無					□進行中 □見込みなし □不明			
意 見	□厳重 □相当 □寛大 □刑事 □保護 □不処分 □								
	特記事項								

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

実況見分調書

年月日

警察署 司法

④

被疑者に対する業務上過失傷害に対する道路交通法違反 被疑事件につき、本職は下記のとおり実況見分をした。

見分日時	年月日午 時 分から午 時 分まで(天候)							
見分場所	先路上(道路名)							
立会人								
現 場 道 路 の 状 況	路面状況	<input type="checkbox"/> アスファルト <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂利道 <input type="checkbox"/> 自然道 <input type="checkbox"/> 平たん <input type="checkbox"/> 凹凸 <input type="checkbox"/> 乾燥 <input type="checkbox"/> 温潤 <input type="checkbox"/> 泥ねい <input type="checkbox"/> 水だまり <input type="checkbox"/> 積雪(約 cm) <input type="checkbox"/> 凍結 <input type="checkbox"/>						
	交通規制	<input type="checkbox"/> 最高速度 km/h <input type="checkbox"/> 追越しのための右側部分はみだし禁止 <input type="checkbox"/> 一方通行 <input type="checkbox"/> 駐車禁止 <input type="checkbox"/> 一時停止 <input type="checkbox"/> 転回禁止 <input type="checkbox"/> 車両通行止め <input type="checkbox"/> 車両横断禁止 <input type="checkbox"/> 優先道路 <input type="checkbox"/> 歩行者横断禁止 <input type="checkbox"/> 右折禁止 <input type="checkbox"/> 左折禁止 <input type="checkbox"/> 信号機 <input type="checkbox"/> 作動中 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 休止中						
	道路条件	<input type="checkbox"/> 市街地 <input type="checkbox"/> 非市街地 <input type="checkbox"/> 交通頻繁 <input type="checkbox"/> 交通普通 <input type="checkbox"/> 交通閑散 <input type="checkbox"/> 勾配 方面へ <input type="checkbox"/> 上り <input type="checkbox"/> 下り 100 <input type="checkbox"/> 工事中 <input type="checkbox"/> 夜間 <input type="checkbox"/> 明 <input type="checkbox"/> 照明 <input type="checkbox"/> 暗 <input type="checkbox"/> 運転方向からの見とおし <input type="checkbox"/> 前方 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 後方 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 右方 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 左方 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 運転方向からの見とおし <input type="checkbox"/> 前方 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 後方 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 右方 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 左方 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 不良						
	車種	番号	長さ m	幅 m	高さ m			
	ハンドルの位置	<input type="checkbox"/> 右 <input type="checkbox"/> 左	定員	名	最大積載量 kg	積載品		
	事故当時の積載重量	kg	事故当時の積載容量 長さ m 幅 m 高さ m					
	損害の部位・程度・状況							
	実験結果	<input type="checkbox"/> ハンドル <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> ブレーキ <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 前照灯 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 方向指示器 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 尾灯 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 制動灯 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良						
	その他							
	運 転 車 両 の 状 況	車種	番号	長さ m	幅 m	高さ m		
ハンドルの位置		<input type="checkbox"/> 右 <input type="checkbox"/> 左	定員	名	最大積載量 kg	積載品		
事故当時の積載重量		kg	事故当時の積載容量 長さ m 幅 m 高さ m					
損害の部位・程度・状況								
実験結果		<input type="checkbox"/> ハンドル <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> ブレーキ <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 前照灯 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 方向指示器 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 尾灯 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 制動灯 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良						
その他								
その他見分状況								

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

立会人 の指示説明		
立会人の指示説明(交通事故現場見取図のとおり)	・事故時の天候は	・見とおしの距離は <input type="radio"/> の地点で 方約 m
	・	した地点は <input type="radio"/>
	・ <input type="checkbox"/> 右折 <input type="checkbox"/> 後退 の合図をした地点は <input type="radio"/>	その時の相手は <input type="radio"/>
	・ <input type="checkbox"/> 左折 の合図をした地点は <input type="radio"/>	その時の相手は <input type="radio"/>
	・最初に相手を発見した地点は <input type="radio"/>	その時の相手は <input type="radio"/>
	・危険を感じた地点は <input type="radio"/>	その時の相手は <input type="radio"/>
	・ハンドルを <input type="checkbox"/> 右 <input type="checkbox"/> 左 に切った地点は <input type="radio"/>	その時の相手は <input type="radio"/>
	・ブレーキをかけた地点は <input type="radio"/>	その時の相手は <input type="radio"/>
	・ <input type="checkbox"/> 衝突 <input type="checkbox"/> 追突 した地点は <input checked="" type="radio"/>	その時の私は <input type="radio"/> 相手は <input type="radio"/>
	・ <input type="checkbox"/> 接触 した地点は <input type="radio"/>	が <input type="checkbox"/> 停止 <input type="checkbox"/> 転倒 した地点は <input type="radio"/> が <input type="checkbox"/> 停止 <input type="checkbox"/> 転倒 した地点は <input type="radio"/>
	・見とおしを妨げたもの、運転操作等に影響を及ぼしたもののは <input type="checkbox"/> あった。 その地点は <input type="radio"/> 、それは	<input type="checkbox"/> なかった。
	立会人 の指示説明	
	補助者	<input type="checkbox"/> 写真 葉を をして撮影させ末尾に添付した。 <input type="checkbox"/> 立体写真 組を をして撮影させ <input type="checkbox"/> 末尾に添付 <input type="checkbox"/> 警察に保管 した。 <input type="checkbox"/> 司法 に実況見分の補助をさせた。

交通事故現場見取図

凡				例				関係距離	
▽ ▽	基 点	①	発見可能地點	—	防護柵	■■■	血痕	▽～×	0～○ m
×	衝突・接触・追突地点	②	その時の相手の位置	—	横断歩道橋	—	—	▽～×	0～○ m
□□	四 輪 車	○→	写真撮影方向	+	電柱	—	—	○～○	m
→○	二 輪 車	□□□	信号機	↑	街 灯	—	—	○～○	m
—→①②③	の進路	—□□	信号機(歩行者用)	■■■■■	建 物	—	—	○～○	m
---→④⑤⑥	の進路	—	一時停止標識	~~~~~	スリップ痕	—	—	○～○	m
---→⑦⑧⑨	の進路	---	横断歩道	□□□□□	タイヤ痕	—	—	○～○	m
⑩	目撃者の位置	-----	中 央 線	—□—□—	擦 過 痕	—	—	○～○	m
方 位									

1
縮尺

- 注
意
事
項
- 凡例に掲げていない道路標識、道路標示、散乱物、バス停留所及び立木等で事故に関係があると認められるものについては、適宜凡例を定めて凡例欄に記入すること。
 - 縮尺は1/200を原則とするが、事案に応じ適宜変更することは差し支えない。
 - 関係地点間の距離は、できる限り測定基点が明らかになるよう図示すること。

作成者	警察署 司法
-----	-----------

被疑者供述調書(年	月	日	において取調べ)	
氏名		□大	□平	年	月	日生(歳)
□昭						
本籍						
住居	(電話)					
職業		勤務先	(電話)			
上記の者に対する業務上過失傷害、道路交通法違反被疑事件につき、本職は、あらかじめ被疑者に對し、自己の意思に反して供述をする必要がない旨を告げて取り調べたところ、任意次のとおり供述した。						
前科	1 前科は 業務上過失致死傷 回、道路交通法違反 回、その他 回					
前歴	2 前科にはりませんでしたが、その他の前歴は 業務上過失致死傷 回、道路交通法違反 回(内反則行為 回)、その他 回					
運転免許	免許の種類は 免許で 年 月 日に取得し、 公安委員会から交付を受けました。そして 年 月 日に更新しました。 番号は第 号です。運転経験は 年 月です。					
運転車両	保有者は です。 車種は で、登録(車両)番号は です。					
1 私が事故を起こしたのは、 年 月 日午 時 分ごろです。						
2 同乗者は、						
3 事故を起こした場所は、 です。						
4 事故を起こす前、私は のために 通りを 方面から 方面に向けて を運転して時速約 kmで 進行していました。						
積荷は、						
5 ハンドル、ブレーキ等の故障は、						
6 事故当時の天候は、						
道路の状態は、						
見とおしは、						
照明は、						
歩行者、車両の状況は、						
7 事故を起こした状況を で説明します。						
(1) 事故前の私の状況は、						

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

(2) 私が最初に被害者(相手の車)を発見したとき、私は ○の地点、

相手方は ○の地点におり、相互の距離は約 mでした。そのときの
私の車の速度は時速約 kmでした。

(3) そのときの被害者(相手の車)の動静は、

(4) そこで私のとった措置は、

(5) ぶつかったのは○の地点で、私の車の 相手方の
ぶつかり、相手方は 私の方は

8 この事故の結果、

9 この事故を起こした原因は、私が

10 私がそのような不注意な運転をした理由は、

11 事故後の措置は、

12 相手方の治療代等については、

13

供述人

印

以上のとおり録取して読み聞かせたところ、誤りのないことを申し立て署名 印した。

前 同 日 警察署 司法

印

被 害 者 供 述 調 書		(年 月 日)	において取調べ			
氏名			□明 □昭 □大 □平	年	月	日 生 (歳)
住居						(電話)
職業		勤務先				(電話)
上記の者は、本職に対し、任意次のとおり供述した。						
1	私は、 年 月 日 午 時 分 ころ、					で交通事故に遭いました。
2	この事故は私が、					
3	相手方は、					
4	この事故の状況を説明しますと、					
私が上記日時場所を 方面から 方面に向かって						
5	事故のとき、加害車両を運転していたのは、					で、
同乗者は でした。						
6	この事故の原因について思い当たる点は、					

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

7 私の落度は、

8 私のけがは、

9 私の車の損害は、

10 治療代の支払や示談の点は、

11 相手方に対する処罰は、

12

供述人

印

以上のとおり録取して読み聞かせたところ、誤りのないことを申し立て署名 印した。

前 同 日

警察署 司法

印

参考人(□目撃者□同乗者□保護者□その他) 供述調書

(年 月 日)		において取調べ)	
氏名		□明 □大	□昭 □平
年 生(歳)	月 日		
住居	(電話)		
職業	勤務先	(電話)	
上記の者は、本職に対し、任意次のとおり供述した。			
1 私は、年 月 日午 時 分ころ、 で発生した交通 事故のことについてお話しします。			
<p>（以下20行の供述用紙）</p>			
供述人 印			
以上のとおり録取して読み聞かせたところ、誤りのないことを申し立て署名 印した。			
前同日	警察署・司法	印	

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

樣式第7号

供述人 印

以上のとおり録取して読み聞かせたところ、誤りのないことを申し立て署名 印した。

前同日 警察署 司法 印

供述人

印

以上のとおり録取して読み聞かせたところ、誤りのないことを申し立て署名 印した。

前 同 日

警察署 司法

三

(用紙 日本工業規格 A4)

別添2

様式第1号

檢 第	号	閱	主任検察官				
送致書		送致第	号				
檢察庁 殿		年 月 日					
檢察官 警察署 司法警察員							
下記被疑事件を送致する。							
搜査報告書		年 月 日					
警察署長 殿		警察署 司法					
下記被疑事件を捜査した結果は、次のとおりであるから報告する。							
被疑者	罪名	<input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 刑法211条1項前段			副署長 (次長)		
	罰条	<input type="checkbox"/> 道路交通法違反 同法 条項号					
	よりがな 氏名	男	女	口大 口平 口昭			
	本籍						
	住居					(電話) (携帯)	
	職業	勤務先				(電話)	
被害者	免許番号	交付年月日	第	公安委員会	種別	主任	
	車両の損害	車種	番号	口大 口中 口小 口無	円		
	部位・程度						
	よりがな 氏名	男	女	口大 口平 口昭			
	住居				(電話) (携帯)		
	職業	勤務先					(電話)
事故概要	傷病名	程度	<input type="checkbox"/> 治療 <input type="checkbox"/> 全治 週・日間	事故時の状態	<input type="checkbox"/> 歩行中等 <input type="checkbox"/> 車両乗用 <input type="checkbox"/> 車運転中 <input type="checkbox"/> 車両乗用		
	車両の損害	車種	番号				
	部位・程度			口大 口中 口小 口無	円		
	口 被害者一覧表記載のとおり						
	日時	年 月 日	午 時	分	ころ(事故時の天候)		
	場所	先路上(道路名)					
事故様	X ()						
過失の内容							
備考							
取扱者警電							

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

現場の見分状況書

作成日	平成 年 月 日			見分者	司法		印				
見分日時	平成 年 月 日 午 時 分から午 時 分までの間(天候)										
発生日時	平成 年 月 日 午 時 分ころ(天候)										
発生(見分)場所							先路上(道路名)				
見 通 し 見 配 立 会 人 方 位 取 図	路 面	乾燥 湿潤	照 明	規 制	(甲)の道路	最高速度	km/h	<input type="checkbox"/> 一時停止	<input type="checkbox"/>	信 号 機	あり なし
					(乙)の道路	最高速度	km/h	<input type="checkbox"/> 一時停止	<input type="checkbox"/>		
	甲 良 不良()	測定	~	m	~	m	~	m	~	m	
	乙 良 不良()		距離	~	m	~	m	~	m	~	m
	勾	甲 下り 平坦 上り	スリップ痕			m	m	m	m	m	
	配	乙 下り 平坦 上り	立会人	甲					乙		
	指 示 説 明		した地点	最初に相手を 発見した地点	危険を感じた 地 点	ブレーキを かけた地点	衝突地 点	停止転倒地 点			
	立 会 人	甲									
	乙										
		方 位	凡 例 ①②③~(甲)の進路 ④⑤⑥~(乙)の進路 ⑦⑧⑨~ の進路								

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

(用紙 日本工業規格A4)

被疑者供述調書(平成年月日)

において取調べ)

1 自己の意思に反し、供述する必要がないことは、説明を受け分かりました。

2 別紙現場の見分状況書 別紙 のとおり

交通事故を起こし、相手方がけがをしたことに間違いありません。

事故直前の私の車両の速度は、約 km/hでした。

3 この事故で私が不注意だった点とその理由は、

4 相手方の不注意な点は、ありません。 分かりません。

5 相手方との示談については、交渉中です。 これから話し合います。

6

供述人

印

以上のとおり録取して読み聞かせたところ、誤りのないことを申し立て署名 印した。

前同日

警察署 司法

印

(注意) 口印のある欄については、該当の口印の中にレを付けること。

(用紙 日本工業規格A4)

被害者供述調書 (平成 年 月 日)

において取調べ)

1 別紙 (現場の見分状況書) のとおり,
平成 年 月 日 午 時 分 ころ,

自動車 (四輪 二輪) 運転中 同乗中 (助手席 後部席)
原付車運転中
自転車運転中 (灯火 無灯火)
歩行中

に交通事故にあい、

その結果けがをしたことに間違ひありません。

事故直前の私の車両の速度は、約 km/hでした。

シートベルトは、着用していました。非着用でした。

2 この事故で私が不注意だった点は、

3 相手方の不注意な点は、分かりません。

4 相手方との示談については、交渉中です。 これから話し合います。

5 相手方 (さん) の処罰は、望みません。 お任せします。

6

供述人

印

以上のとおり録取して読み聞かせたところ、誤りのないことを申し立て署名・印した。

前同日

警察署 司法

印

(注意) 印のある欄については、該当の印の中にレを付けること。

検査報告書(継続)

番号		被害者一覧表									
ふりがな 氏名					<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 平 <input type="checkbox"/> 昭		年月日生(歳)		
住居		(電話) (携帯)									
職業		勤務先		(電話)							
傷病名		程度	<input type="checkbox"/> 治療 <input type="checkbox"/> 全治			週・日間		<input type="checkbox"/> 歩行中等 <input type="checkbox"/> 車同乗中 <input checked="" type="checkbox"/> 車運転中 <input checked="" type="checkbox"/> 車同乗中	事故時 の状態		
車両 の 損害	車種				番号						
	部位・程度				<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無		円				
ふりがな 氏名					<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 平 <input type="checkbox"/> 昭		年月日生(歳)		
住居		(電話) (携帯)									
職業		勤務先		(電話)							
傷病名		程度	<input type="checkbox"/> 治療 <input type="checkbox"/> 全治			週・日間		<input type="checkbox"/> 歩行中等 <input type="checkbox"/> 車同乗中 <input checked="" type="checkbox"/> 車運転中 <input checked="" type="checkbox"/> 車同乗中	事故時 の状態		
車両 の 損害	車種				番号						
	部位・程度				<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無		円				
ふりがな 氏名					<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 平 <input type="checkbox"/> 昭		年月日生(歳)		
住居		(電話) (携帯)									
職業		勤務先		(電話)							
傷病名		程度	<input type="checkbox"/> 治療 <input type="checkbox"/> 全治			週・日間		<input type="checkbox"/> 歩行中等 <input type="checkbox"/> 車同乗中 <input checked="" type="checkbox"/> 車運転中 <input checked="" type="checkbox"/> 車同乗中	事故時 の状態		
車両 の 損害	車種				番号						
	部位・程度				<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無		円				
ふりがな 氏名					<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 平 <input type="checkbox"/> 昭		年月日生(歳)		
住居		(電話) (携帯)									
職業		勤務先		(電話)							
傷病名		程度	<input type="checkbox"/> 治療 <input type="checkbox"/> 全治			週・日間		<input type="checkbox"/> 歩行中等 <input type="checkbox"/> 車同乗中 <input checked="" type="checkbox"/> 車運転中 <input checked="" type="checkbox"/> 車同乗中	事故時 の状態		
車両 の 損害	車種				番号						
	部位・程度				<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無		円				
ふりがな 氏名					<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 平 <input type="checkbox"/> 昭		年月日生(歳)		
住居		(電話) (携帯)									
職業		勤務先		(電話)							
傷病名		程度	<input type="checkbox"/> 治療 <input type="checkbox"/> 全治			週・日間		<input type="checkbox"/> 歩行中等 <input type="checkbox"/> 車同乗中 <input checked="" type="checkbox"/> 車運転中 <input checked="" type="checkbox"/> 車同乗中	事故時 の状態		
車両 の 損害	車種				番号						
	部位・程度				<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無		円				

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

別添3

特例書式運用要領

第1 送致書・捜査報告書（様式第1号）

1 罪名・罰条欄

本欄において、業務上過失傷害事件のほか道路交通法違反事件等の罪名・罰条欄に記入することとしたのは、業務上過失傷害事件及びこれに関連する道路交通法違反事件等につき、本書式を使用して同時に送致することができることとするためである。

なお、重過失傷害事件、道路運送車両法違反事件及び自動車損害賠償保障法違反事件については、余白の□印の中に✓を付け、該当する罪名、罰条を記入すること。

2 被疑者欄

前科、前歴欄には、業務上過失致死傷、道路交通法違反、その他の3欄があるが、その他の欄については、道路運送法、道路運送車両法、自動車損害賠償保障法、自動車の保管場所の確保等に関する法律等いわゆる交通関係法令違反事件に限って記入し、前歴については、前科となった事件以外の事件の検挙歴を記入すること。

業務上過失致死傷事件と道路交通法違反事件とが併合罪又は科刑上一罪として処罰された場合は業務上過失致死傷の回数を、業務上過失致死傷事件又は道路交通法違反事件と他の犯罪とが併合罪又は科刑上一罪として処罰された場合はそれぞれ業務上過失致死傷又は道路交通法違反の回数を記入すること。

3 発覚の端緒欄

本欄には、申告の月日時等を記入する余白がないが、事故不申告等の事犯について申告月日時、事故発覚の端緒、経過など申告に関する状況を明らかにする必要がある場合は、別に捜査報告書を作成して末尾に添付すること。

4 関連事件送致欄

本欄は、相被疑事件として当事者を一括送致する場合に記入するほか、相被疑事件で当事者が成人と少年であるとき、雇用者及び運行管理者等を立件

送致するとき及び道路交通法違反事件として送致した後で被害者から診断書が提出され、業務上過失傷害事件として改めて送致するとき（この場合には別途至急連絡をすること。）などの一括送致できない場合にも記入すること。

5 備考欄

本欄には、例えば

- (1) 前科、前歴欄に記入した事項について特に説明を必要とするとき
 - (2) 事故の関係者を反則事件として告知したとき
 - (3) 被疑者に転職、転居等の予定があるとき
- など捜査処理上参考となる事項を記載すること。

6 被害者（車）欄

(1) 被害者欄

本欄の運転車両区分は、被害者が下欄の運転車両欄の区分番号のいずれの車両に乗車していたかを明らかにするものであるから、被害者ごとに下欄の区分番号を記入すること。したがって、被害者が歩行者、被疑車両の同乗者等である場合は、この欄は記入しないこととなる。

(2) 運転車両欄

本欄の車種については、道路交通法第2条に定める車両の定義に従い記入すること。

車両のうち自動車にあっては、乗用、貨物の別に道路交通法第3条に定める自動車の種類を記入すること（例えば、普通乗用自動車、大型貨物自動車等）。

損害の部位については、主たる部位を記入し、損害の程度については、大破・中破・小破・軽微の区分に従って（　　）内の該当の□印の中に✓を付け、さらに、修理見積額が判明するものについては、（　　）内の該当箇所にその額を記載すること。

なお、車両に損傷はなかったが、同車両に乗車している者が傷害を負った場合には、受傷者は被害者欄に記入されることとなるので、被害者と車両との関係を明らかにするため当該車両を運転車両欄に記入し、区分番号を明記し、その区分番号を被害者欄の運転車両区分の欄に記入すること。

上記の場合とは逆に、いわゆる玉突き衝突等により車両は損傷したが、同車両に乗車している者が傷害を負っていない場合にも当該車両を運転車両欄に記入すること。

(3) 運転状況欄

本欄は、被害車両の事故発生直前の速度及び被疑者からみた被害車両の事故直前の状態を明らかにするために設けたものである（右折、左折について、被害車両を中心にして記入すること。）。

被害車両が複数である場合は、事故原因と直接的関係にある被害車両を記入すること。

なお、本欄の記入に当たっては、下記の例を参考にして記入すること。

ア 被害車両であるバスが左前方で停止中の場合

上欄は 前 左 停止中となり、下欄には✓を付けない。

イ 被害車両を追従中、同車が急停止した場合

上欄は 前 先行となり、下欄は 急停止となる。

ウ 交差道路を左側から進行してきた被害車両と交差点で衝突した場合

上欄は 左 交差道路進行となり、下欄は 直進 横断となる。

エ 被害車両が左前方の空地から徐行して道路へ進出した場合

上欄は 前 左 道路へ進出となり、下欄は 徐行となる。

オ 右前方を進行中の被害車両が急に左折を開始した場合

上欄は 前 右 先行となり、下欄は 左折となる。

(4) 歩行者等の状況欄

本欄は、車両の運転者、同乗者を除く歩行者、佇立者、路上作業者、路上遊戯者等の事故直前の状況について記入すること。

点線下欄は補足説明のためのものであり、例えば、「小走りで左から右へ斜め横断」「横断歩道横断中」「横断歩道外横断中」等必要事項を記入すること。

7 被疑者（車）欄

(1) 運転車両欄

本欄の車種については、自家用、事業用を✓印で区別するほか、被害者

(車) 欄の運転車両欄の記入要領に従い記入すること。

なお、()は、警察における点数制度運用上必要があるので、下記に定める車種の略号のうち該当する略号をその中に記入するため設けたものである。

大型バス	大型貨物	特大型電	路面	マイクロバス	普通乗用	普通貨物	三輪	軽四輪	軽四輪	軽三輪	ミニカー	大自二	普通二	普通二	普通原	普通原	小型特
------	------	------	----	--------	------	------	----	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(2) 過失の態様欄

過失の態様は多岐にわたり、これをすべて網羅することは不可能なため比較的多発する過失の態様を選んで列挙したものである。

(3) 過失の内容欄

上欄の過失の態様のみではその内容を明らかにすることはできないので、本欄は過失の内容を中心として犯罪事実を正確かつ簡潔に記述するために設けたものである。

例えば、過失の態様が「前方不注視」の場合、「前車に追従中、伝票を取り出そうとして脇見し、前方注視を怠った過失により、停止した前車をその後方約10メートルに至って初めて発見し、急制動の措置を講じたが衝突」等と具体的に記載すること。

(4) 道路交通法違反欄

本欄は、道路交通法違反事件と業務上過失傷害事件とを同時送致した場合(「罪名、罰条」欄に両者を表示した場合)に記入するものである。下部の余白箇所は、必要に応じ上記の違反の具体的な内容を補充説明するためのものである。

8 意見欄

本欄上欄中の「刑事」「保護」「不処分」は少年事件についてのみ使用し、適合する不動文字がない場合は余白の□印の中に✓を付け、適合する字句を

記載すること。

特記事項欄は、上記の意見を付するに至った具体的理由等を必要に応じ記述すること。

第2 実況見分調書（様式第2号）

1 現場道路の状況欄

交通規制欄の（ ）内には、事故当時、日又は時間限って交通規制が行われていた場合にその規制の日又は時間を記入すること。

交差点事故において、交差道路の速度規制が異なる場合には、本欄の最高速度の箇所には、被疑者が進行した道路の最高速度を記入し、被害者が進行した道路の最高速度は「その他見分状況」欄に記入すること。

2 運転車両の状況欄

その他欄には、装置不良の具体的状況、車両の改造状況、タイヤの摩耗状況、スノータイヤ、スパイクタイヤの使用状況、タイヤチェーンの着装状況、貨物の積荷の状況、運転視野を妨げた貼付物の状況、前照灯の照射距離等事故発生に影響のあると認められる事項について記述すること。

3 その他見分状況欄

本欄には、道路凹凸の状況、信号機のサイクル、雨、霧、煙等による視界の障害状況等現場の実況見分の結果、事故発生に影響のあると認められる事項について記述すること。

4 立会人の指示説明欄

立会人が2人以上である場合に、立会人それぞれの指示内容がおおむね一致するときは、指示説明欄の記載については、被疑者以外の者の指示は記載を要しないが、その場合は、「立会人 の指示説明」の空白部分にその立会人の氏名を記入し、その下部の余白部分にその者の指示内容が被疑者のそれとおおむね一致していることを記載すること。

なお、立会人それぞれの指示内容がくい違うなどにより、各別に指示内容を記載する必要がある場合には、「立会人 の指示説明」の空白部分に立会人の氏名を記入し、その下部の余白部分に上部記載の例にならって記載するとともに、それぞれの主張を明らかにするため必要に応じ交通事故現

場見取図を各別に作成すること。

5 補助者欄

本欄の「実況見分の補助をさせた」者とは、例えば、実況見分者とともに現場に赴き、基点の設定、距離の測定等の行為を行い、あるいは交通事故現場見取図のもととなるメモ等を作成するなど、実況見分を実質的に補助した者をいい、単に交通整理に従事したにすぎない者等は含まれない。

第3 被疑者供述調書（様式第4号）

犯罪事実に関する供述部分中、「7 事故を起こした状況を で説明します。」とし、空白部分を設けたのは、被疑者に示すものが交通事故現場見取図に限らず、その見取図の原図あるいはメモ又は被疑者作成の現場見取図の場合も考えられるからである。

別添4

簡約特例書式運用要領

第1 取扱いについて

- 1 被害者に対し、加療期間に変化が生じたときなどには警察署に連絡するよう、事情聴取のときなどにおいて、口頭で伝えるものとする。
- 2 本書式による送致の可否は、事件を検察庁に送致する時点において、判断するものとする。
- 3 事件送致前に、

については、捜査報告書、供述調書等でその経緯・内容を明らかにし、これを事件記録に添付するものとし、その結果、本書式の適用要件を満たさなくなったものについては、特例書式により捜査書類を作成した上で送致するものとする。この場合において、既に本書式で作成済みの現場の見分状況書及び供述調書があれば、併せて事件記録に添付するものとする。

- 4 本書式で事件送致をした後、

には、捜査報告書等でその経緯・内容を明らかにし、これを関係書類として追送するものとする。

- 5 本書式を適用する事件については、事件発生の日から2か月以内に送致するものとする。
- 6 檢察官が、必要に応じて、縮尺交通事故現場見取図の作成、被疑者・被害者等の再取調べ、再実況見分、診断書の再取得等の補充捜査を指示した場合には、その指示に応じて補充捜査を実施し、その結果を関係書類として追送するものとする。
- 7 少年事件について、家庭裁判所から、審判の必要のため、縮尺交通事故現場見取図又は被害者若しくは参考人の供述調書の作成等の補充捜査の要請があった場合には、これに応じて捜査を尽くすものとする。

第2 記載要領

- 1 送致書・捜査報告書（様式第1号）
 - (1) 被疑者欄

ア 罪名、罰条

該当する罪名の□印の中にレを付ける。

本欄において、業務上過失傷害事件のほか道路交通法違反事件について罪名・罰条欄に記入することとしたのは、業務上過失傷害事件及びこれに関連する道路交通法違反事件につき、本書式を使用して同時に送致できることとするためであるので、道路交通法違反罰条欄は、両事件を同時に送致する場合にのみ記入すること。

事故不申告の事犯について、申告年月日時、事故発覚の端緒、経過等申告に関する状況を明らかにする必要がある場合は、別に捜査報告書を作成して末尾に添付すること。

イ 車両の損害

車種については、特例書式の運用要領第1, 7, (1)運転車両欄に定める車種の略号のうち該当する略号を記載し、番号については、自動車検査証により確認し、登録番号を記載すること。

損害の部位については、主たる部位を記入し、損害の程度については、大・中・小・無の区分に従って該当の□印の中にレを付け、さらに、修理見積額が判明するものについては、その額を記載すること。

(2) 被害者欄

ア 負傷状況（傷病名、程度）

医師の診断書を確認し、記載すること。程度は、該当の□印の中にレを付けるとともに、受傷日を起算日として期間を記載するものとし、週又は日のいずれかを○で囲むこと。

イ 車両の損害

前記第2, 1, (1), イの例により記載すること。

ウ 被害者が複数の場合

被害者が複数の場合は、「□ 被害者一覧表記載のとおり」中の□印の中にレを付け、捜査報告書（継続）の被害者一覧表（様式第5号）を使用し、前記第2, 1, (2), ア, イと同様の要領により記載すること。

(3) 事故概要欄

ア 事故態様

被疑者運転車両を×印の左に、被害車両を×印の右とし、前記第2, 1, (1), イの例により車種の略号を記載するとともに、()内には、車両相互の場合は事故形態を、対歩行者事故の場合は事故直前の歩行者の状態を記載すること。

イ 過失の内容

事故の原因となった道路交通法違反を中心に、過失の内容を正確かつ簡潔に記載すること。

(4) 備考欄

ア 関連事件の送致がある場合

相被疑事件等を一括送致しない場合は、当該事件の被疑者名、送致年月日、送致番号を記載すること。

イ 人定事項に関する変更予定等がある場合

被疑者に転職、転居等の予定がある場合は、転職先、転居先等を記載すること。

ウ 被疑者が少年の場合

被疑者が少年の場合には、保護者の氏名、続柄、住居、電話番号等を記載するとともに、当該少年及び被害者の過失に関する判断を記載すること。

2 現場の見分状況書(様式第2号)

(1) 見分者

見分者の官職及び氏名を記載し、押印すること。

なお、現場の見分状況書の作成者が見分者と異なる場合には、図面記載枠内の下部に作成者の官職及び氏名を記載して押印すること。

(2) 路面

路面状況について、不動文字の該当事項を○で囲むこと。

(3) 照明

照明について、不動文字の該当事項を○で囲むこと。

(4) 規制・信号機

規制は、各立会人の進行道路の交通規制を記載すること。

「追越しのための右側部分はみ出し禁止」, 「一方通行」, 「転回禁止」, 「優先道路」, 「歩行者横断禁止」, 「右折禁止」, 「左折禁止」等の交通規制が行われている場合, 余白の□印の中にレを付けて当該規制の内容を記入すること。

信号機は, 現場道路の交通信号機の有無について, 不動文字の該当事項を○で囲むとともに, 設置されている場合は, 図面に信号機設置状況を記載するほか, 各立会人の指示説明に基づく各信号の表示状況を記載すること。

(5) 見通し・勾配

各立会人の進行道路の見通し, 道路勾配の状況について, 不動文字の該当事項を○で囲むこと。

「見通し」欄の()内には, 「右方」又は「左方」と記載すること。

(6) 立会人

立会人が3名以上の場合は, 適宜, 欄を作成して氏名を記載すること。

(7) 指示説明・立会人

立会人の指示は, 必要に応じて一つの枠内に相手の位置も併せて記入するほか, 測定距離の箇所に相互の距離を記入すること。

不動文字で示した地点以外の地点については, 「指示説明」欄の空白に必要事項を記載すること。

立会人が3名以上の場合は, 適宜, 欄を作成して必要事項を記載すること。

(8) 見取図

図面は, 衝突地点を始め他の指示説明等の各地点を明確に記載するなど, 過失の認定がしやすいように作成すること。

「凡例」は, 必要に応じて不動文字に加えて追記すること。

図面の作成は, フリーハンドで記載することができる。

見取図とは別の交通事故現場見取図(原図)を作成した場合には, これを見取図に代えて使用することができる。

見分の結果, 道路の凹凸, 信号サイクル, 雨, 霧等による視界の障害等, 事故発生に影響したと認められる事情がある場合には, 当該事情を余白部分に記載すること。

3 供述調書

(1) 被疑者供述調書（様式第3号）

ア 被疑者に対し、あらかじめ供述拒否権を告知すること。

イ 「2」、「4」、「5」の欄は、該当する印の中にレを付けるとともに、「2」の欄には、更に空白部分に当たる事項を録取すること。

なお、「4」、「5」の欄について、適合する不動文字がない場合には、余白部分の印の中にレを付けるとともに、被疑者の供述要旨を簡潔に録取すること。

「3」の欄は、過失内容に関する供述を簡潔に録取すること。

ウ 被疑者が、「1」ないし「5」の欄に記載した事項以外の事実について、供述調書への記載を希望した場合は、「6」の欄に、その供述要旨を簡潔に録取すること。

また、相被疑事件の場合において、相手方の処罰に関する事項については、「6」の欄に、被疑者の供述要旨を簡潔に録取すること。

エ 被疑者が少年の場合には、「6」の欄に、当該少年の前科・前歴・反則行為の有無及び回数に関する供述要旨その他審判の参考となる事項を録取すること。

オ 相被疑事件の場合は、被疑者数に応じ、様式第3号を使用して各被疑者ごとに供述調書を作成すること。

(2) 被害者供述調書（様式第4号）

ア 「1」、「3」、「4」、「5」の欄は、該当する印の中にレを付けるとともに、「1」、「5」の欄には、更に空白部分に当たる事項を録取すること。

なお、「3」、「4」、「5」の欄について、不動文字に該当しない場合には、空白部分の印の中にレを付けるとともに、被害者の供述要旨を簡潔に録取すること。

現場の見分状況書又はこれに代わる交通事故現場見取図（原図）等が、いずれも未作成等の理由により、被害者に示すことができない場合には、「1」欄の「□平成 年 月 日午 時 分ごろ、」の印

の中にレを付け、交通事故の発生日時に関する供述を録取すること。

イ 「5」欄については、()内に当該事故の被疑者の氏名について録取するとともに、被疑者に対する処罰意思を録取すること。

ウ 被害者が、「1」ないし「5」欄に記載した事項以外の事実について、供述調書への記載を希望した場合は、「6」の欄に、その供述要旨を簡潔に録取すること。

エ 被害者が小学生、幼児等の場合、その保護者等に立会いを求めるとともに、供述人署名欄と同一行に立会人として署名・押(指)印させること。

オ 被害者が複数の場合は、被害者数に応じ、様式第4号を使用して各被害者ごとに供述調書を作成すること。

被害車両(四輪以上の自動車、自動二輪車、原動機付自転車、自転車等を含む。)に複数名が乗車していた場合、運転者については負傷の有無を問わず供述調書を作成し、同乗者については負傷した同乗者全員の供述調書をそれぞれ作成するとともに、運転者及び負傷した同乗者全員について前記被害者一覧表に記載すること。

複数の歩行者が負傷した場合には、負傷した歩行者全員の供述調書をそれぞれ作成し、その全員について前記被害者一覧表に記載すること。

カ 被害者の供述調書については、将来、事実の重要な部分について争いが生じることとなるおそれがない事件において、被害者に対して供述調書作成のため警察署等への出頭を要請したにもかかわらず、その協力が得られなかったときに限り、例外的に、その供述調書に代えて、電話等で聴取した供述の内容を記載した捜査報告書を用いることができる。

4 捜査報告書(継続)の被害者一覧表(様式第5号)

被害者が複数の場合に使用し、前記第2、1、(2)の要領で記載すること。

大阪地検指示第7号
平成17年11月30日

大阪地方検察庁管内司法警察職員 殿

大阪地方検察庁検事正 中 尾 巧

平成14年12月25日付け当職指示第6号「自動車等による業務上過失傷害等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」の一部改正について（指示）

標記当職指示の一部を下記のとおり改正し、平成17年12月1日から実施するので、遺憾のないよう運用されたい。

なお、改正された様式は、改正前の用紙が残存する限り、適宜修正を加えてこれを使用して差し支えない。

以上、刑事訴訟法第193条第1項により指示する。

記

- 1 第3「簡約特例書式の適用範囲について」中、「業務上過失傷害事件」の次に「及び自転車運転又は自動車等のドアの開放に起因する（重）過失傷害事件」を加える。
- 2 第3、7(2)末尾に次の二文を加える。
「
」

- 3 別添2、様式第1号、被疑者の項中
「
」

罪名	<input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 刑法211条1項前段
罰条	<input type="checkbox"/> 道路交通法違反 同法 条項号, 条項号

を
「
」

罪名	<input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 刑法211条1項前段
罰条	<input type="checkbox"/> 過失傷害 刑法209条1項 <input type="checkbox"/> 重過失傷害 刑法211条1項後段
罰条	<input type="checkbox"/> 道路交通法違反 同法 条項号, 条項号

に改める。

4 別添4, 第2, 1(1)ア中, 「業務上過失傷害事件」を「業務上過失傷害等事件」に, 「両事件」を「同事件等」に改める。

大阪地検指示第2号

平成19年5月31日

大阪地方検察庁管内司法警察職員 殿

大阪地方検察庁検事正 佐 藤 信 昭

平成14年12月25日付け当職指示第6号「自動車等による業務上過失傷害等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」の一部改正について（指示）

道路交通法の一部を改正する法律（平成16年法律第90号）の一部が本年6月2日から施行され、刑法の一部を改正する法律（平成19年法律第54号）が5月23日公布され、本年6月12日から施行されることに伴い、標記当職指示の一部を下記のとおり改正することとしたので、その運用に遺憾のないようにされたい。

なお、改正前の様式による用紙が残存している場合には、施行日以降においても、当分の間、適宜修正を加え、これを使用して差し支えない。

以上、刑事訴訟法第193条第1項により指示する。

記

- 1 題名「自動車等による業務上過失傷害等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」を「自動車運転過失傷害等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」に改める。
- 2 第2中「道路交通法第2条所定の車両」を「自動車運転過失傷害、道路交通法第2条所定の車両」に改める。
- 3 第3中「道路交通法第2条所定の」を「自動車運転過失傷害、道路交通法第2条所定の」に改める。

4 別添1様式第1号(その1)中

罪名	<input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 刑法 211条1項前段
罰条	<input type="checkbox"/> 道路交通法違反 同法 条項号, 条項号
	<input type="checkbox"/>

」を

罪名	<input type="checkbox"/> 自動車運転過失傷害 刑法211条2項
罰条	<input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 刑法 211条1項前段
	<input type="checkbox"/> 道路交通法違反 同法 条項号, 条項号
	<input type="checkbox"/>

」に

改める。

5 別添1様式第1号(その1)の被疑者欄中

免許	交付年月日第号 公安委員会											
	<input type="checkbox"/>											
	大 型	普 通	大 特	大 自	普 自	小 二	原 二	牽 付	大型 引	普通 引	大型 引	普通 引

」を

免許	交付年月日第号 公安委員会												
	<input type="checkbox"/>												
	大 型	中 型	普 通	大 特	大 自	普 自	小 二	原 二	牽 付	大型 引	中型 引	普通 引	大型 引

」に

改める。

6 別添1様式第1号(その1)の被疑者欄中

前科	前科
	業務上過失致死傷 回, 道路交通法違反 回, その他 回
前歴	前科以外の前歴
	業務上過失致死傷 回, 道路交通法違反 回(内反則行為 回), その他 回

」を

前科	前科	危険運転致死傷 回, 自動車運転過失致死傷 回,
		業務上過失致死傷 回, 道路交通法違反 回, その他 回
前歴	前科以外の前歴	危険運転致死傷 回, 自動車運転過失致死傷 回,
		業務上過失致死傷 回, 道路交通法違反 回(内反則行為 回), その他 回

」に

改める。

7 別添1様式第2号（その1）中

実況見分調書		年	月	日
警察署 司法				
被疑者	に対する	<input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 <input type="checkbox"/> 被疑事件につき, 本 <input type="checkbox"/> 道路交通法違反		
		職は下記のとおり実況見分をした。		

」を

実況見分調書		年	月	日
警察署 司法				
被疑者	に対する	<input type="checkbox"/> 自動車運転過失傷害 <input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 <input type="checkbox"/> 道路交通法違反		
		被疑事件につき, 本職は下記のとおり実況見分をした。		

」に

改める。

8 別添1様式第4号（その1）中

上記の者に対する業務上過失傷害、道路交通法違反被疑事件につき、本職は、あらかじめ被疑者に対し、自己の意思に反して供述をする必要がない旨を告げて取り調べたところ、任意次のとおり供述した。

前科	1 前科は 業務上過失致死傷 回、道路交通法違反 回、その他 回
前歴	2 前科にはなりませんでしたが、その他の前歴は 業務上過失致死傷 回、道路交通法違反 回 (内反則行為 回), その他 回

」を

上記の者に対する自動車運転過失傷害、業務上過失傷害、道路交通法違反被疑事件につき、本職は、あらかじめ被疑者に対し、自己の意思に反して供述をする必要がない旨を告げて取り調べたところ、任意次のとおり供述した。

前科	1 前科は 危険運転致死傷 回、自動車運転過失致死傷 回、 業務上過失致死傷 回、道路交通法違反 回、その他 回
前歴	2 前科にはなりませんでしたが、その他の前歴は 危険運転致死傷 回、自動車運転過失致死傷 回、 業務上過失致死傷 回、道路交通法違反 回 (内反則行為 回), その他 回

」に

改める。

9 別添2様式第1号の被疑者欄中

罪名	<input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 刑法211条1項前段
	<input type="checkbox"/> 過失傷害 刑法209条1項 <input type="checkbox"/> 重過失傷害 刑法211条1項後段
罰条	<input type="checkbox"/> 道路交通法違反 同法 条項号, 条項号

」を

罪名	<input type="checkbox"/> 自動車運転過失傷害 刑法211条2項 <input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 刑法211条1項前段
罰条	<input type="checkbox"/> 過失傷害 刑法209条1項 <input type="checkbox"/> 重過失傷害 刑法211条1項後段 <input type="checkbox"/> 道路交通法違反 同法 条項号, 条項号

」に

改める。

- 10 別添3特例書式運用要領第1, 1中「本欄について,」の次に「自動車運転過失傷害事件及び」を、「罪名・罰条欄に記入することとしたのは,」の次に「自動車運転過失傷害事件又は」を加える。
- 11 別添3特例書式運用要領第1, 2を次のように改める。

2 被疑者欄

前科, 前歴欄には, 危険運転致死傷, 自動車運転過失致死傷, 業務上過失致死傷, 道路交通法違反, その他の5欄があるが, その他欄については, 道路運送法, 道路運送車両法, 自動車損害賠償保障法, 自動車の保管場所の確保等に関する法律違反等いわゆる交通関係法令違反事件に限って記入し, 前歴については, 前科となった事件以外の事件の検挙歴を記入すること。

危険運転致死傷事件, 自動車運転過失致死傷事件又は業務上過失致死傷事件と道路交通法違反事件とが併合罪又は科刑上一罪として処罰された場合は, それぞれ危険運転致死傷, 自動車運転過失致死傷又は業務上過失致死傷の回数に, 危険運転致死傷事件, 自動車運転過失致死傷事件, 業務上過失致死傷事件又は道路交通法違反事件と他の犯罪とが併合罪又は科刑上一罪として処罰された場合は, それぞれ危険運転致死傷, 自動車運転過失致死傷, 業務上過失致死傷又は道路交通法違反の回数に記入すること。

なお, 上記の場合において, 改正前の自動車等による業務上過失致死傷事件に係るものについては, すべて業務上過失致死傷の回数に記入すること。

- 12 別添3特例書式運用要領第1, 4中「被害者から診断書が提出され,」の次に「自動車運転過失傷害事件又は」を加える。
- 13 別添3特例書式運用要領第1, 7, (1)中

大型 バス	大 貨	特 貨	大 特	路 面	マイ クロ バス	普 乗	普 貨	三 輪	輕 四	輕 四	輕 三	ミ カ ー	大 自 二	普 自 二	輕 二	二 種 原	一 種 原	小 特
----------	--------	--------	--------	--------	----------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------------	-------------	-------------	--------	-------------	-------------	--------

」を

大型 バス	マイ クロ バス	大 貨	大 特	路 面	中 型 バ ス	中 貨	普 乗	普 貨	三 輪	輕 四	輕 四	輕 三	ミ カ ー	大 自 二	普 自 二	輕 二	二 種 原	一 種 原	小 特
----------	----------------	--------	--------	--------	------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------------	-------------	-------------	--------	-------------	-------------	--------

」に

改める。

- 14 別添3特例書式運用要領第1, 7, (4)中「道路交通法違反事件と」の次に「自動車運転過失傷害事件又は」を加える。
- 15 別添4簡約特例書式運用要領第2, 1, (1), ア中「本欄において、」の次に「自動車運転過失傷害事件又は」を、「罪名・罰条欄に記入することとしたのは、」の次に「自動車運転過失傷害事件又は」を加える。

附 則

(施行期日)

この依命通達の規定は、次の各号に掲げる区分に従い、当該各号に定める日から施行する。

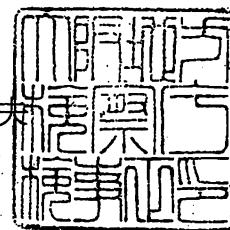
- 1 5及び13の規定 平成19年6月2日
- 2 1から4まで、6から12まで及び14, 15の規定 平成19年6月12日

大阪地検指示第2号

平成24年3月28日

大阪地方検察庁管内司法警察職員 殿

大阪地方検察庁検事正 北村道夫



平成14年12月25日付け当職指示第6号「自動車運転過失傷害等事件に
係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」の一部改正に
ついて（指示）

民法等の一部を改正する法律（平成23年法律第61号）が本年4月1日から施
行されることから、標記当職指示の一部を下記のとおり改正することとしたので、
その運用に遺憾のないようにされたい。

以上、刑事訴訟法第193条第1項により指示する。

なお、改正前の様式による用紙が残存している場合には、施行日以降においても、
当分の間、適宜修正を加え、これを使用して差し支えない。

記

- 別添4簡約特例書式運用要領第2(4)ウ中「電話番号等」の次に「（保護者が法
人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名並びに主たる事務所又は本店の
所在地及び電話番号等）」を加える。
- 別添1様式第1号（その1）中

保護者又は 身元引受人	氏名		(歳)	続柄	
	住所		(電話)		
	職業		勤務先	(電話)	

」を

保護者又は 身元引受人	氏名 (歳)		続柄
	(名称又は商号及び代表者の氏名)		
住所	(主たる事務所又は本店の所在地)		(電話)
職業		勤務先	(電話)

」に

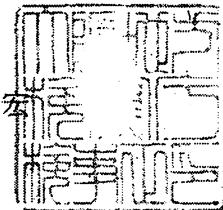
改める。

大阪地検指示第 3 号

平成 26 年 5 月 15 日

大阪地方検察庁管内司法警察職員 殿

大阪地方検察庁検事正 田 内 正 宏



平成 14 年 12 月 25 日付け当職指示第 6 号「自動車運転過失傷害等事件に
係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」の一部改正に
ついて（指示）

自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律（平成 25 年法律
第 86 号）が本年 5 月 20 日から施行されることに伴い、標記指示の一部を下記の
とおり改正し、同日から実施するので、遺憾のないよう運用されたい。

なお、今回改正された様式については、改正前の様式による用紙が残存し、又は
システム等により改正前の様式が出力される限り、施行日以降においても、当分の
間、適宜修正を加え、これを使用することは差し支えない。

以上、刑事訴訟法第 193 条第 1 項により指示する。

記

- 1 題名中「自動車運転過失傷害等事件」を「過失運転致傷等事件」に改める。
- 2 第 2, 第 3 中「自動車運転過失傷害」を「過失運転致傷事件、自動車運転過失
傷害事件」に改める。
- 3 別添 1 自動車運転過失傷害等事件特例書式の様式第 1 号（その 1）中

罪名 罰則	<input type="checkbox"/> 自動車運転過失傷害 刑法 211 条 2 項 <input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 刑法 211 条 1 項前段 <input type="checkbox"/> 道路交通法違反 同法 一条 項 号, 一条 項 号 <input type="checkbox"/>
----------	--

罪名 罰条	<input type="checkbox"/> 過失運転致傷　自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律 5 条 <input type="checkbox"/> 自動車運転過失傷害　平成 25 年法律第 86 号による改正前の刑法 211 条 2 項 <input type="checkbox"/> 業務上過失傷害　刑法 211 条 1 項前段（ <input type="checkbox"/> 上記改正前の刑法 211 条 1 項前段） <input type="checkbox"/> 道路交通法違反　同法　　条　項，　　条　項　号 <input type="checkbox"/>
----------	--

改める。

4 別添 1 自動車運転過失傷害等事件特例書式の様式第 1 号（その 1）の被疑者欄
中

前科 前歴	前科　危険運転致死傷　回，自動車運転致死傷　回 業務上過失致死傷　回，道路交通法違反　回，その他　回 前科以外の前歴　危険運転致死傷　回，自動車運転致死傷　回， 業務上過失致死傷　回，道路交通法違反　回（内反則行為　回），その他　回
----------	---

前科 前歴	前科 危険運転致死傷　回，自動車運転致死傷　回，業務上過失致死傷　回， 過失運転致死傷　回，道路交通法違反　回，その他　回 前科以外の前歴 危険運転致死傷　回，自動車運転致死傷　回，業務上過失致死傷　回， 過失運転致死傷　回，道路交通法違反　回（内反則行為　回）， その他　回
----------	--

改める。

5 別添 1 自動車運転過失傷害等事件特例書式の様式第 1 号（その 2）の日時欄中

日時	年	月	日午	時	分	ころ
----	---	---	----	---	---	----

日時	年	月	日午	時	分	頃
----	---	---	----	---	---	---

改める。

6 別添1自動車運転過失傷害等事件特例書式の様式第2号（その1）中

実況見分調書		年	月	日
警察署 司法				
被疑者	<input type="checkbox"/> 自動車運転過失傷害 <input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 に対する <input type="checkbox"/> 道路交通法違反			
事件につき、本職は下記のとおり実況見分をした。				

実況見分調書		年	月	日
警察署 司法				
被疑者	<input type="checkbox"/> 過失運転致傷 <input type="checkbox"/> 自動車運転過失傷害 に対する <input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 <input type="checkbox"/> 道路交通法違反			
事件につき、本職は下記のとおり実況見分をした。				

改める。

7 別添1自動車運転過失傷害等事件特例書式の様式第4号（その1）中

上記の者に対する自動車運転過失傷害、業務上過失傷害、道路交通法違反被疑事件につき、本職は、あらかじめ被疑者に対し、自己の意思に反して供述をする必要がない旨を告げて取り調べたところ、任意次のとおり供述した。				
前科 前歴	1 前科は 危険運転致死傷 回、自動車運転致死傷 回 業務上過失致死傷 回、道路交通法違反 回、その他 回			
	2 前科にはなりませんでしたが、その他の前歴は 危険運転致死傷 回、自動車運転致死傷 回、 業務上過失致死傷 回、道路交通法違反 回（内反則行為 回）、その他 回			

上記の者に対する過失運転致傷、自動車運転過失傷害、業務上過失傷害、道路交通法違反被疑事件につき、本職は、あらかじめ被疑者に対し、自己の意思に反して供述をする必要がない旨を告げて取り調べたところ、任意次のとおり供述した。				
1 前科は 危険運転致死傷 回、自動車運転致死傷 回、業務上過失致死傷 回、				

前科	過失運転致死傷 回, 道路交通法違反 回, その他 回	に
前歴	2 前科にはなりませんでしたが, その他の前歴は 危険運転致死傷 回, 自動車運転致死傷 回, 業務上過失致死傷 回, 過失運転致死傷 回, 道路交通法違反 回(内反則行為 回), その他 回	

改める。

8 別添1 自動車運転過失傷害等事件特例書式の様式第5号(その1)中

1 私は, 年 月 日 午 時 分 ころ,	を
1 私は, 年 月 日 午 時 分頃,	に

改める。

9 別添1 自動車運転過失傷害等事件特例書式の様式第6号(その1)中

1 私は, 年 月 日 午 時 分 ころ,	を
1 私は, 年 月 日 午 時 分頃,	に

改める。

10 別添3 運用要領第1, 1中「本欄において」の次に「, 過失運転致傷事件」を加える。

11 別添3 運用要領第1, 2を次のように改める。

前科, 前歴欄には, 危険運転致死傷, 自動車運転過失致死傷, 業務上過失致死傷, 過失運転致死傷, 道路交通法違反, その他の6欄があるが, 平成25年法律第86号による改正前の刑法第208条の2(危険運転致死傷), 自動車運転死傷処罰法第6条第1項(無免許危険運転致傷)及び第2項(無免許危険

運転致死傷)については、「危険運転致死傷」の回数に記入させること。

自動車運転死傷処罰法第4条(過失運転致死傷アルコール等影響発覚免脱), 同法第6条第3項(無免許過失運転致死傷アルコール等影響発覚免脱)及び同条第4項(無免許過失運転致死傷)については、「過失運転致死傷」の回数に記入させること。

その他欄については、道路運送法、道路運送車両法、自動車損害賠償保障法、自動車の保管場所の確保等に関する法律違反等いわゆる交通関係法令違反事件に限って記入させ、前歴については、前科となった事件以外の事件の検挙歴を記入させること。危険運転致死傷事件、自動車運転過失致死傷事件、業務上過失致死傷事件又は過失運転致死傷事件と道路交通法違反事件とが併合罪又は科刑上一罪として処罰された場合は、それぞれ危険運転致死傷、自動車運転過失致死傷、業務上過失致死傷、過失運転致死傷又は道路交通法違反の回数に記入させること。

- 12 別添3運用要領第1, 4中「診断書が提出され」の次に「、過失運転致傷事件」を加える。
- 13 別添3運用要領第1, 7, エ中「本欄は」の次に「、過失運転致傷事件」を加える。
- 14 別添2自動車運転過失傷害等事件簡約特例書式の様式第1号の被疑者欄中

罪名 罰条	<input type="checkbox"/> 自動車運転過失傷害 刑法211条2項 <input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 刑法211条1項前段 <input type="checkbox"/> 過失傷害 刑法209条1項 <input type="checkbox"/> 重過失傷害 刑法211条1項後段 <input type="checkbox"/> 道路交通法違反 同法 条 項, 条 項 号
----------	--

を

罪名 罰条	<input type="checkbox"/> 過失運転致傷 自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律5条 <input type="checkbox"/> 自動車運転過失傷害 平成25年法律第86号による改正前の刑法211条2項 <input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 刑法211条1項前段(□上記改正前の刑法211条1項前段) <input type="checkbox"/> 過失傷害 刑法209条1項 <input type="checkbox"/> 重過失傷害 刑法211条1項後段(□上記改正前の刑法211条1項前段) <input type="checkbox"/> 道路交通法違反、同法 条 項, 条 項 号
----------	---

に

改める。

15 別添2自動車運転過失傷害等事件簡約特例書式の様式第1号の事故概要欄中

日時	年	月	日午	時	分	を
----	---	---	----	---	---	---

日時	年	月	日午	時	分	を
----	---	---	----	---	---	---

改める。

16 別添2自動車運転過失傷害等事件簡約特例書式の様式第2号中

発生日時	平成	年	月	日午	時	分	を
------	----	---	---	----	---	---	---

発生日時	平成	年	月	日午	時	分	を
------	----	---	---	----	---	---	---

改める。

17 別添2自動車運転過失傷害等事件簡約特例書式の様式第4号中

1	□平成	年	月	日午	時	分	を
---	-----	---	---	----	---	---	---

1	□平成	年	月	日午	時	分	を
---	-----	---	---	----	---	---	---

改める。

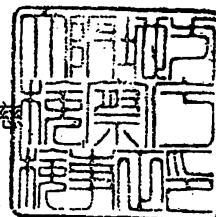
18 別添4簡約特例書式運用要領第2, 1, (1), ア中「本欄において,」の次に「過失運転致傷事件,」を,「罪名・罰条欄に記入することとしたのは,」の次に「過失運転致傷事件,」を加える。

19 別添4簡約特例書式運用要領第2, 3, (2), ア中「「□平成 年 月
日午 時 分」」を「「□平成 年 月 日午 時 分」」
に改める。

大阪地検 指示第1号
平成29年2月17日

大阪地方検察庁管内司法警察職員 殿

大阪地方検察庁検事正 上野友慈



「過失運転致傷等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」の一部改正について（指示）

平成14年12月25日付け当職指示第6号「過失運転致傷等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」を下記のとおり改正し、本年3月12日から実施するので、遺憾のないよう運用されたい。

以上、刑事訴訟法第193条第1項により指示する。

なお、改正前の様式による用紙が残存し、又はシステム等により改正前の様式が
出力される限り、適宜修正を加えて使用することは差し支えないので、遺憾のない
よう運用されたい。

記

1 別添1様式第1号（その1）の被疑者欄中

免 許	交付	年	月	日	第	号	公安委員会
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	大	中	普	大	大	普
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	小	原	幸	大	中	普
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	自	自	型	型	通	特
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	型	型	通	特	引	型
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	二	二	付	引	二	二
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	二	二	二	二	二	二
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	假	假	假	假	假	假

を

に改める。

2 別添3 運用要領第1、7、ア運転車両欄中

大型バス	マイクロバス	大貨	大特	大電	路面	中面	中電	中型	中貨	普貨	普貨	三輪	輕四	輕四	輕貨	三乘	輕自	普自	輕二	二種	二原	一種	原特
------	--------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

を

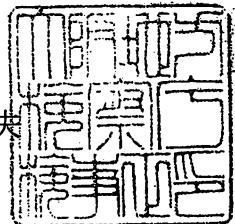
に改める。

大阪地検指示第1号

平成30年2月23日

大阪地方検察庁管内司法警察職員 殿

大阪地方検察庁検事正 横 原 一 夫



「過失運転致傷等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」の一部改正について（指示）

平成14年12月25日付け当職指示第6号「過失運転致傷等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」の一部を下記のとおり改正し、平成30年4月1日から実施する。

以上、刑事訴訟法第193条第1項により指示する。

記

第2中4を次のように改める。

4 削除

第3中1の次に次の号を加える。

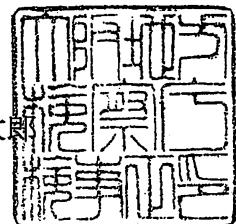
1の2 証拠品を押収した事件

大阪地検指示第1号

平成31年3月12日

大阪地方検察庁管内司法警察職員 殿

大阪地方検察庁検事正 北川 健太郎



「過失運転致傷等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」の一部改正について（指示）

平成14年12月25日付け当職指示第6号「過失運転致傷等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」を下記のとおり改正し、本年5月1日から実施するので、遺憾のないよう運用されたい。

以上、刑事訴訟法第193条第1項により指示する。

なお、改正前の様式による用紙が残存し、又はシステム等により改正前の様式が出力される限り、適宜修正を加えて使用することは差し支えないでの、遺憾のないよう運用されたい。

記

- 1 別添1過失運転致傷等事件特例書式中様式第1号（その1）、様式第4号（その1）、様式第5号（その1）、様式第6号及び別添2過失運転致傷等事件簡約特例書式を次のように改める。

2 別添4簡約特例書式運用要領第2, 3, (2), ア中「□平成 年
月 日午 時 分頃,」」を「□ 年 月 日午 時 分
頃,」」に改める。

様式第1号

検 第 号

閲	主任検察官

送致書

送致第 号
年 月 日

検察官 殿

警察署 司法警察員 印

下記被疑事件を送致する。

捜査報告書

年 月 日

警察署長 殿

警察署 司法 印

下記被疑事件を捜査した結果は、次のとおりであるから報告する。

罪名	□過失運転致傷 自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律5条 □自動車運転過失傷害 平成25年法律第86号による改正前の刑法211条2項 □業務上過失傷害 刑法211条前段 (□上記改正前の刑法211条1項前段) □道路交通法違反 同法 条 項 号, 条 項 号			決裁 署長		
罰条				副署長 (次長)		
被疑者	ふりがな 氏名	□男 □女	年 月 日 生 (歳)		課長	
	本籍			外国人 登録 No.	係長	
	住居				(電話)	主任
	職業	勤務先	(電話)			
	免許	交付年月日	第	号	公安委員会	
前歴	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ 大中準普大普小原牽大中普大牽大中準普 中自自型型通特引型型通 型型通特二二特付引二二二二二二仮仮仮					
	前科	回, 自動車運転過失致死傷 回, 業務上過失致死傷 回, 過失運転致死傷 回, 道路交通法違反 回, その他 回				
	前歴	回, 自動車運転過失致死傷 回, 業務上過失致死傷 回, 過失運転致死傷 回, 道路交通法違反 回(内反則行為 回), その他 回				
発覚の端緒	□被疑者の申告 □被害者の申告 □第三者の申告 □警察官の現認 □					
関連事件送致	□有 (氏名 年月日 年 月 日送致) □無 □有 (氏名 年月日 年 月 日送致) □無 罪名 檢察庁					
保護者又は 身元引受人	氏名 (名称又は商号及び代表者の氏名) (歳) 続柄					
	住居 (主たる事務所又は本店の所在地) (電話)					
	職業 勤務先 (電話)					
備考						

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。 取扱者警電 一

被疑者供述調書(年月日)		において取調べ)	
氏名		年	月 日生(歳)
本籍			
住居	(電話)		
職業	勤務先	(電話)	
<p>上記の者に対する過失運転致傷、自動車運転過失傷害、業務上過失傷害、道路交通法違反被疑事件につき、本職は、あらかじめ被疑者に対し、自己の意思に反して供述をする必要がない旨を告げて取り調べたところ、任意次のとおり供述した。</p>			
前科	<p>1 前科は 危険運転致死傷 回、自動車運転過失致死傷 回、業務上過失致死傷 回、 過失運転致死傷 回、道路交通法違反 回、その他 回</p>		
	<p>2 前科にはなりませんでしたが、その他の前歴は 危険運転致死傷 回、自動車運転過失致死傷 回、業務上過失致死傷 回、 過失運転致死傷 回、道路交通法違反 回(内反則行為 回), その他 回</p>		
運転免許	<p>免許の種類は 免許で 年 月 日に取得し、 公安委員会から交付を受けました。そして 年 月 日に更新しました。 番号は第 号です。運転経験は 年 月です。</p>		
運転車両	<p>保有者は です。 車種は で、登録(車両)番号は です。</p>		
<p>1 私が事故を起こしたのは、 年 月 日午 時 分頃です。</p>			
<p>2 同乗者は、</p>			
<p>3 事故を起こした場所は、 です。</p>			
<p>4 事故を起こす前、私は のために 通りを 方面から 方面に向けて を運転して時速約 kmで 進行していました。</p>			
<p>積荷は、</p>			
<p>5 ハンドル、ブレーキ等の故障は、</p>			
<p>6 事故当時の天候は、</p>			
<p>道路の状態は、</p>			
<p>見とおしは、</p>			
<p>照明は、</p>			
<p>歩行者、車両の状況は、</p>			
<p>7 事故を起こした状況を で説明します。</p>			
<p>(1) 事故前の私の状況は、</p>			

被害者供述調書 (年 月 日)			において取調べ
氏名		年 月 日	生(歳)
住居	(電話)		
職業	勤務先	(電話)	
上記の者は、本職に対し、任意次のとおり供述した。			
1 私は、 年 月 日 午 時 分頃、			
で交通事故に遭いました。			
2 この事故は私が、			
3 相手方は、			
4 この事故の状況を説明しますと、			
私が上記日時場所を			方面から
方面に向かって			
5 事故のとき、加害車両を運転していたのは、			
で、 同乗者は でした。			
6 この事故の原因について思い当たる点は、			

参考人(□目撃者□同乗者□保護者□その他) 供述調書

(年 月 日)		において取調べ)	
氏名		年 月 日生	(歳)
住居	(電話)		
職業	勤務先	(電話)	
上記の者は、本職に対し、任意次のとおり供述した。			
1 私は、 年 月 日 午 時 分頃、 で発生した交通			
事故のことについてお話しします。			
<p>（以下20行の供述用紙）</p>			
供述人 印			
以上のとおり録取して読み聞かせたところ、誤りのないことを申し立て署名 印した。			
前 同 日	警察署 司法	印	

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

閱主任検察官

検 第 号

送致書

送致第 号
年 月 日

検察庁

殿

警察署

司法警察員

検察官

殿

警察署

司法警察員

下記被疑事件を送致する。

捜査報告書

年 月 日

決裁
署長

察署長 殿

警察署

司法

下記被疑事件を捜査した結果は、次のとおりであるから報告する。

被 疑 者	罪名	<input type="checkbox"/> 過失運転致傷 自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律 5 条 <input type="checkbox"/> 自動車運転過失傷害 平成 25 年法律第 86 号による改正前の刑法 211 条 2 項					副署長 (次長)	
	罰条	<input type="checkbox"/> 業務上過失傷害 刑法 211 条前段 (<input type="checkbox"/> 上記改正前の刑法 211 条 1 項前段)						
		<input type="checkbox"/> 過失傷害 刑法 209 条 1 項						
		<input type="checkbox"/> 重過失傷害 刑法 211 条後段 (<input type="checkbox"/> 上記改正前の刑法 211 条 1 項後段)						
		<input type="checkbox"/> 道路交通法違反 同法 条 項 号, 条 項 号						
	ふりがな 氏名			男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日生 (年)			
	本籍							課長
	住居	(電話 (携帯))						
	職業			勤務先	(電話)			
	免許	交付番号	年 月 日	公安委員会		種別		係長
車両 の 損害	車種	番号						
	部位・程度			口大 <input type="checkbox"/> 口中 <input type="checkbox"/> 口小 <input type="checkbox"/> 口無	円			
被 害 者	ふりがな 氏名			男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日生 (年)			主任
	住居	(電話 (携帯))						
	職業			勤務先	(電話)			
	傷病名	程度		<input type="checkbox"/> 治療 <input type="checkbox"/> 全治 週・日間	事故時 の状態	<input type="checkbox"/> 歩行中等 <input type="checkbox"/> 車同乗中 <input type="checkbox"/> 車運転中 <input type="checkbox"/> 車同乗中		
	車両 の 損害	車種	番号					
	部位・程度			口大 <input type="checkbox"/> 口中 <input type="checkbox"/> 口小 <input type="checkbox"/> 口無	円			
<input type="checkbox"/> 被害者一覧表記載のとおり								
事故 概 要	日時	年 月 日午 時 分頃 (事故時の天候)						
	場所	先路上 (道路名)						
	事故 態 様	X ()						
	過失 の 内 容							
備 考								

取扱者警電

(注意) 印のある欄については、該当の印の中にレを付けること。

現場の見分状況書

作成日	年月日			見分者	司法			印	
見分日時	年月日午 時 分から午 時 分までの間(天候)								
発生日時	年月日午 時 分頃(天候)								
発生(見分)場所	先路上(道路名)								
見 取 図	路 面	乾燥 濡潤 ()	照 明	規 制	(甲)の道路 (乙)の道路	最高速度 km/h	<input type="checkbox"/> 一時停止	<input type="checkbox"/>	信号機 あり なし
	見 通 し	甲 良 不良()	測定	~	m ~ m ~ m ~ m				
	乙 良 不良()	距離	~	m ~ m ~ m ~ m					
	勾 配	甲 下り 平坦 上り	スリップ痕		m m m m				
	立 会 人	乙 下り 平坦 上り	立会人	甲			乙		
	指 示 説 明		した地点	最初に相手を 発見した地点	危険を感じた 地 点	ブレーキを かけた地点	衝突地 点	停止転倒地 点	
	立 会 人	甲							
	方 位	凡例 ①②③~(甲)の進路 ⑦⑧⑨~(乙)の進路 ④⑤⑥~ の進路							

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

被疑者供述調書(年月日)において取調べ)

1 自己の意思に反し、供述する必要がないことは、説明を受け分かりました。

2 別紙現場の見分状況書 別紙 のとおり

交通事故を起こし、相手方がけがをしたことに間違いありません。

事故直前の私の車両の速度は、約 km/hでした。

3 この事故で私が不注意だった点とその理由は、

4 相手方の不注意な点は、ありません。分かりません。

5 相手方との示談については、交渉中です。これから話し合います。

6

供述人

印

以上のとおり録取して読み聞かせたところ、誤りのないことを申し立て署名・印した。

前同日

警察署 司法

印

(注意) 印のある欄については、該当の印の中にレを付けること。

(用紙 日本工業規格A4)

被害者供述調書(年月日)

において取調べ)

1 別紙(□現場の見分状況書)□)のとおり,
□ 年月日午時 分頃,

□自動車(□四輪□二輪) □運転中□同乗中(□助手席□後部席)

□原付車運転中

□自転車運転中(□灯火□無灯火)

□歩行中 □

に交通事故にあい,

その結果けがをしたことに間違ひありません。

□事故直前の私の車両の速度は、約 km/hでした。

□シートベルトは、□着用していました。□非着用でした。

2 この事故で私が不注意だった点は、

3 相手方の不注意な点は、□分かりません。□

4 相手方との示談については、□交渉中です。□これから話し合います。

□

5 相手方()さん)の処罰は、□望みません。□お任せします。

□

6

供述人

印

以上のとおり録取して読み聞かせたところ、誤りのないことを申し立て署名 印した。

前同日

警察署 司法

印

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

搜查報告書（継続）

被害者一覧表						
ふりがな 氏名			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日生 (年齢)		
住居						(電話) (携帯)
職業			勤務先	(電話)		
傷病名	程度	<input type="checkbox"/> 治療 <input type="checkbox"/> 全治		週・日間	事故時 の状態	<input type="checkbox"/> 歩行中等 <input type="checkbox"/> 車同乗中 <input type="checkbox"/> 車運転中 <input type="checkbox"/> 車同乗中
車両 の 損害	車種			番号		
	部位・程度			<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無	円	
ふりがな 氏名			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日生 (年齢)		
住居						(電話) (携帯)
職業			勤務先	(電話)		
傷病名	程度	<input type="checkbox"/> 治療 <input type="checkbox"/> 全治		週・日間	事故時 の状態	<input type="checkbox"/> 歩行中等 <input type="checkbox"/> 車同乗中 <input type="checkbox"/> 車運転中 <input type="checkbox"/> 車同乗中
車両 の 損害	車種			番号		
	部位・程度			<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無	円	
ふりがな 氏名			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日生 (年齢)		
住居						(電話) (携帯)
職業			勤務先	(電話)		
傷病名	程度	<input type="checkbox"/> 治療 <input type="checkbox"/> 全治		週・日間	事故時 の状態	<input type="checkbox"/> 歩行中等 <input type="checkbox"/> 車同乗中 <input type="checkbox"/> 車運転中 <input type="checkbox"/> 車同乗中
車両 の 損害	車種			番号		
	部位・程度			<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無	円	
ふりがな 氏名			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日生 (年齢)		
住居						(電話) (携帯)
職業			勤務先	(電話)		
傷病名	程度	<input type="checkbox"/> 治療 <input type="checkbox"/> 全治		週・日間	事故時 の状態	<input type="checkbox"/> 歩行中等 <input type="checkbox"/> 車同乗中 <input type="checkbox"/> 車運転中 <input type="checkbox"/> 車同乗中
車両 の 損害	車種			番号		
	部位・程度			<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無	円	
ふりがな 氏名			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日生 (年齢)		
住居						(電話) (携帯)
職業			勤務先	(電話)		
傷病名	程度	<input type="checkbox"/> 治療 <input type="checkbox"/> 全治		週・日間	事故時 の状態	<input type="checkbox"/> 歩行中等 <input type="checkbox"/> 車同乗中 <input type="checkbox"/> 車運転中 <input type="checkbox"/> 車同乗中
車両 の 損害	車種			番号		
	部位・程度			<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無	円	

(注意) □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

大阪地検指示第4号

令和元年6月28日

大阪地方検察庁管内司法警察職員 殿

大阪地方検察庁検事正 北川 健太郎
(公印省略)

「過失運転致傷等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」の一部改正について（指示）

平成14年12月25日付け当職指示第6号「過失運転致傷等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」を下記のとおり改正し、本年7月1日から実施するので、遺憾のないよう運用されたい。

以上、刑事訴訟法第193条第1項により指示する。

なお、今回改正された様式については、従来の様式による用紙が残存するときは、これを使用することは差し支えない。

記

平成14年12月25日付け当職指示第6号「過失運転致傷事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」別添1様式第1号から様式第2号まで、様式第4号から様式第7号まで及び別添2様式第1号から第5号までの様式中「日本工業規格」を「日本産業規格」に改める。

大阪地検指示第9号
令和元年11月14日

大阪地方検察庁管内司法警察職員 殿

大阪地方検察庁検事正 田辺 泰 弘
(公印省略)

「過失運転致傷等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」の一部改正について（指示）

平成14年12月25日付け当職指示第6号「過失運転致傷等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」を下記のとおり改正し、本年12月1日から実施するので、遺憾のないよう運用されたい。

以上、刑事訴訟法第193条第1項により指示する。

記

1 第3, 3に次のように加える。

(4) [REDACTED]

2 第3, 7, (1)中「オ [REDACTED]」を削り、「カ」を「オ」に改める。

大阪地検指示第3号
令和2年6月19日

大阪地方検察庁管内司法警察職員 殿

大阪地方検察庁検事正 田辺 泰 弘
(公印省略)

「過失運転致傷等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」の一部改正について（指示）

平成14年12月25日付け当職指示第6号「過失運転致傷等事件に係る司法警察職員捜査書類基本書式例の特例の制定について」を下記のとおり改正し、本年6月30日から実施するので、遺憾のないよう運用されたい。

以上、刑事訴訟法第193条第1項により指示する。

記

1 第2、6中「[]」の次に「[]」を加える。